

大会プログラム

1日目:9月18日(日)

10:00～10:30 学会大会参加およびテニス大会参加受付

試合観戦

10:30～12:00 ITF Women's Circuit \$10,000 Hiroshima シングルス決勝

テニス大会

12:30～16:00 小山秀哉杯

ワークショップ

13:00～14:30 ①「日本一になるためのトレーニング」

講師：大島伸洋（トレーニング科学研究所）

司会：山口光明（広島市立大学）

14:30～16:00 ②「テニスにおける二軸動作について ～実技編～」

講師：友末亮三（安田女子大学） 細野朝海（安田女子大学）

小田伸午（京都大学）

司会：杉山貴義（くらしき作陽大学）

※ワークショップ終了後、公認指導者更新のためのポイント「研修・実習活動実績証」カードを返却します。9/19 も参加される方は、朝の受付時に改めて提出してください。

2日目:9月19日(月)

9:00~9:30 学会大会参加受付

開会挨拶

9:30~9:40 平田 聡 (日本テニス学会副会長)

シンポジウム

9:40~11:10 「テニスにおける二軸動作について ~理論編~」

演者: 小田伸午 (京都大学)

司会: 大島伸洋 (トレーニング科学研究所)

一般研究発表:口頭発表① 司会:三浦 朗(県立広島大学)

11:20~11:40 演題番号:口頭 01

「世界のトッププロはなぜポリエステル・ガットを使うのか
—ストリング潤滑ラケットとスパゲッティ・ラケットの超高速ビデオ画像解析からの考察—」

○川副嘉彦 (埼玉工業大学)

11:40~12:00 演題番号:口頭 02

「人間型二足ロボットによる捻らない・うねらない・踏ん張らない身体操法の研究」

○川副嘉彦 (埼玉工業大学)

(休憩)

総会

13:00~13:10 司会:田中伸明(東京電機大学)

一般研究発表:ポスター発表 司会:笹原英夫(広島経済大学)

13:10~13:15 演題番号:ポスター01

「テニスとソフトテニスの相互乗り入れで可能となる近未来のトップカテゴリーで
日本人が勝つための戦術の習得方法」

○本多立雄 (株式会社 I N A X)

13:15~13:20 演題番号:ポスター02

「スピンサーブの安定性に関する研究」

○宮地弘太郎 (サントピアテニスクラブ) 谷口 幸 (日本体育大学)

伊藤雅充 (日本体育大学)

13:20~13:25 演題番号:ポスター03

「全豪オープンにおける世界トップ選手のサーブについて

—Marat Safin 対 Olivier Rochus 戦を対象として—」

○田中伸明 (東京電機大学) 高橋正則 (日本大学) 佐藤雅幸 (専修大学)

澁谷隆良 (東洋英和女学院大学) 水野忠知 (小石川インドアテニスクラブ)

平田大輔 (国立スポーツ科学センター)

13:25～13:30 演題番号:ポスター04

「テニス競技における『状況判断がよいプレー』とは？」

- 平田大輔（国立スポーツ科学センター） 平田 聰（首都大学東京）
佐藤雅幸（専修大学） 田中伸明（東京電機大学） 村上貴聡（東京理科大学）
西條修光（日本体育大学）

13:30～13:35 演題番号:ポスター05

「コース予測のためのパターン認知のトレーニングがパフォーマンスに与える影響
ーソフトテニスのネットプレーを対象としてー」

- 櫻井真之介（日本大学大学院） 加藤史夫（日本大学） 木村多喜（日本大学）
高橋正則（日本大学） 水落文夫（日本大学）

13:35～14:00 ポスター発表総合討論

一般研究発表:口頭発表② 司会:三浦 朗(県立広島大学)

14:10～14:30 演題番号:口頭 03

「年代別のテニスのプレー内容の変化に関する研究」

- 高橋仁大（鹿屋体育大学） 和田智仁（鹿屋体育大学） 前田 明（鹿屋体育大学）
児玉光雄（鹿屋体育大学） 西薊秀嗣（鹿屋体育大学） 倉田 博（鹿屋体育大学）

14:30～14:50 演題番号:口頭 04

「サーブにおける肩甲骨の解剖学的仮想動作」

- 齊藤 靖（TPL トレクティス・ラボ）

一般研究発表:オンコート発表 司会:武田守弘(福山平成大学)

15:00～15:30 演題番号:オンコート 01

「ボレーの反応速度を高めるオンコート・ドリルの開発」

- 児玉光雄（鹿屋体育大学） 高橋仁大（鹿屋体育大学）

※オンコート発表終了後、公認指導者更新のためのポイント「研修・実習活動実績証」カードを返却します。

懇親会 司会:武田守弘(福山平成大学)

16:00～17:00